

やまがら



毎年、冬には自宅に来てくれます。

命を大切にする松山市政の実現を!!

2012年、明けましておめでとうございます。
今年一年、昨年の震災・津波・原発事故から脱却し、
リバウンドする事を願いながら皆様のご健康とご多幸をお祈りしています。



発行・梶原ときよし事務所



私の方、松山市議会議員になって二度目の正月を迎えました。
この一年半、議員として市民相談の事務所を構え、
全ての定例議会に一般質問を行い、議会毎に報告会を開き、
「やまがら」通信を出すなど、がむしゃらに市民目線を買ってききましたが、
民間企業出身の私には驚きと憤りの連続でした。
何せ市政の施行過程には問題が多く、市幹部職員には未だに
税金使用のバブル体質が沁み込んでおり、
その利権を市政執行部側に立つ者たちで
囲い込もうとしている姿には怒りを覚えます。

そもそも議員と首長は、ともに直接選挙で選ばれ
住民を代表する地方自治の制度が二元代表制であり、
対等、独立の議員と首長が、時にけん制し合う緊張関係の下、
本来議会は市長（市政執行部）を監視・評価する
野党的役割が期待されるといわれています。
しかしながら、市政与党議員が多数を占める松山市議会では、
市政執行部の提案に対し、充分な議論もせず起立賛成するだけの
与党議員が多い中、地方自治の二元代表制の
趣旨が機能していないように思われます。

2012年の梶原は、松山市発注工事裏金疑惑等の
不正を糾した上で、無駄を省き、本市の税金の使い方に細かいチェックを行い、
その分を乳幼児保育や学校教育に重点配分をし、更には景気刺激策の
充実が図れるように、いっその行政監視をしていきたいと思ひます。
また、大学を出ても4割もの若者が就職できない等の現実に対し、
市長や市政執行部は傍観者であってはならず、
仕事の保障に全力を挙げなければなりません。
更に市民の健康増進を、予防事業に力を入れる事で効率の良い福祉の
充実が図れるように、シルバーバス事業（電車・バスフリー）等の
実現を含め、議員の側から積極的な政策提案をしていきます。
そして全県的には、伊方原発を止めて
安心して住める環境に戻すこと、
自殺や交通事故死を減らしていくこと、
更には地震や地震による津波対策等
具体的な緊急課題も山積しており、
危機感の無い政治は許されません。
一人ひとりの命を大切にする市政の実現を図り、
松山の元氣を取り戻すために頑張る決意です。
リニューアルした2012年「やまがら」新年号お届けします。
ご読ください。

伊方原発「運転差し止め」を提訴!
12月8日、原告は300人、弁護団は147人

私(梶原時義)も
原告の一員として
参加しています!

| 県名 | 原告数 |
|-----|-----|
| 愛媛 | 176 |
| 高知 | 59 |
| 大分 | 20 |
| 徳島 | 11 |
| 香川 | 8 |
| 広島 | 5 |
| 山口 | 5 |
| 兵庫 | 3 |
| 千葉 | 2 |
| 神奈川 | 2 |
| 長野 | 2 |
| 東京 | 2 |
| 福島 | 2 |
| 島根 | 1 |
| 群馬 | 1 |
| 鹿児島 | 1 |
| | 300 |

12月8日、300名の原告と
147名の弁護団による「伊
方原発運転差し止め」の提訴
を行いました。「伊方原発を
とめる会」は、11月3日の発足
総会で、会の重要な活動の一つ
に、伊方原発の運転差し止め
を求める裁判支援を位置づけ
ました。発足から一ヶ月ほどの
期間でしたが、四国電力を相
手とする裁判の原告募集支援
に全力をあげました。当初は
100名前後と思われた原告
は、次々と広がりを見せ、つい
に300人に達しました。住
民の強い思いの現れであり、
声をかけ集めて頂いたたくさ
んの方々の努力の結果です。
12月8日正午過ぎから、松山
地裁口ビリーには、各地から原
告、支援者ら約100人が
次々と訪れました。午後1時
前には、原告と弁護士を戦闘
に横断幕を掲げた行進が行わ
れました。あいにくの雨の中、
短時間でしたが地裁門前まで
歩き、その足で提訴に向かい
ました。

「伊方原発をとめる会」とは

2011年6月から協議を開始し準備会を立ちあげた。7月には、12名の準備会有志代表で3号機の再稼働をさせないよう知事宛の要請をおこなった。
10月には、元原子炉設計者田中三彦さんを講師に学習会を開催し280名が参加した。11月3日に発足総会を開催してスタートした。
訴訟支援のほか、学習会や要請活動なども主要な活動方針としている。

第2次原告を募集します! 3月21日まで

わずか1ヶ月で今回の原告募集を行なったこともあり、追加できないかとの声を多くいただいています。
同内容で第2次訴訟をおせば、裁判上は「併合」され原告団は増えることになります。3月21日までを募集期間に、第2次訴訟に取り組むことにしました。
詳細は、「伊方原発をとめる会」のホームページに掲載しています。

「伊方原発をとめる会」
の会員になってください。

※詳しくは梶原事務所までご連絡ください。

「佐高信 現代を叱る」松山講演

4月21日(土)PM1:30~ 松山大学カルフル・ホール

講演会:「佐高信 現代を叱る」

と き:2012年4月21日(土)PM1:30~4:00

ところ:松山大学カルフル・ホール(500人収容)松山市文京町4の2
入場料:開催に先立って、一般入場者には整理券(資料代含め1000円)

梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2

TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259

携帯 080-5669-8586

自宅/松山市湯の山4丁目1-5

TEL/FAX/977-8586

E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時~午後5時まで(当面)

●土・日・祝日はお休みです。



あります。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



12月議会表決

松山市市税賦課徴収条例の

一部改正等

(市民にのみ増税をする内容に
反対討論!)

梶原ときよし

議案109号松山市市税賦課徴収条例の
一部改正について反対します。

この条例改正は東日本大震災の復興財
源を盛り込んだ復興財源確保法が成立し
た事によるものですが、市民からは所得税
を2%の定率増税を25年間行い、個人住民
税は年額1,000円の均等割りを10年間
増税するというものです。

一方、逆に法人税は実効税率5%減税を
行い、松山市の法人市民税を年額7億円も
減少させる内容になっています。

これでは、復興支援のための増税という名
の基に行う法人税減税に他なりません。

仮に個人住民税増税は行われなくとも
1億1,000万円は自動的に復興支援に
貢献する事に成り、本市として増税の必然
性は見当たりません。

所得税の定率増税と住民税の定額増税は、
国民の所得再分配の基本ともいえる累進
課税制度の根幹をも揺るがせる事にもな
り、今回の市税賦課徴収条例改正に、賛成
する事は出来ません。格差社会からの脱却
を目指す議員の皆さんの市民目線に期待
をして、私の反対討論を終わります。

以上

梶原ときよしの活動予定や
市議会のスケジュールは
HPでご確認いただけます。ホーム
ページ

梶原ときよし

検索

http://tokiyoshi.sakura.ne.jp

「スケジュール」に行動予定と感想を入れていますのでクリックしてください。

議会公質問

2011年12月9日

12月議会一般質問より抜粋

お早うございます。 12月9日10時、
ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。

3月11日の東日本大震災から9カ月が過ぎようとしていますが、未だに多くの被災者の方々に展望が開けない現実に対し、政治の無力さを情けなく思います。ましてや福島第一原発事故による放射性物質拡散の恐怖は一向に収まりそうもなく、日二と被爆者が増え続けていることに、大きな怒りを感じます。

安全神話を捏造し、やらせミートリングまで仕組んで原発を推進してきた国、県と電力会社に対し、全原発の廃炉と正確な放射性物質汚染状況の公開、更には早急なその対策を求めるものです。
一日も早い震災の復興と、福島原発からの放射性物質の拡散が止まることを祈りながら質問に入ります。



市民全体の奉仕者であるべき市職員等が、このような事件を連続して起こすのは、何故原因と考えておられるか明らかにしてください。

市長は本年9月10日、松山市発注工事をめぐる市職員の守秘義務違反逮捕事件における記者会見で「今までやってきた事は正しいと思う。3,400人の職員の中には不心得

◆野志市政二年の市民の評価は？

◆松山市発注工事裏金疑惑について

◆津田中学校プールにおける、水道水流失事故について

か!!しかもその元市職員と当時の公営企業局現職課長が、裏金が作られたとされる大可賀ポンプ場工事の元請け会社である(株)クボタに対し、市発注工事の入札業者決定権の権力をちらつかせた上で、会食と接待を要求し、定例化させていた事実も、明らかになっています。野志市長、知ってましたか??

元請け業者から見たら、発注権限のある公営企業局現職課長ですよ!松山市職員倫理規程違反が堂々とまかり通っていた事になります!事件発覚から既に9ヶ月、何故、聞きとり調査しないのですか?誰に遠慮しているのですか?稲葉副市長ですか?公営企業局管理者ですか?それとも、事件当時の市長ですか?少なくとも中村前市長は調査説明をするように言われていますよ!松山市職員倫理規程違反事件の調査をいつまでにいつのか、期限を切ってお答え下さい。又、数回にわたりなされた会食では、現職課長からある選挙の応援依頼がなされていますが、現職課長は元請け業者のクボタに対し、何の選挙で、誰の応援を頼んだのか?お答え下さい。更に、(株)クボタの報告書には、「元市職員が裏金造りをするための原資として、クボタの販売手数料を考え、その遺流をさせるために、自己の意のままに動く下請け業者を使うべき旨を陳情した事実が推認され得る」とあります。つまり今回の松山市発注工

下水道部長答弁

今回の問題に元市職員が関与したという報道がある以上、市としても可能な限り事実関係の把握に努める責務があると考えておりますので、不正に対しては厳しく臨むという気概を持って、適切に対応すると共に、説明責任を果たしてまいりたいと考えております。

津田中学校プールにおける、水道水流失事故について

次に津田中学校プールにおける水道水流失事故について、教育長におたずねします。教

野志市政二年の市民の評価は？

さて野志さんが市長になられて二年が経ちますが、本市民にとって市政全般にわたる評価として、笑顔あふれる年だったと思われている人が何人おられるでしょうか。アリアイ的には野志市長周辺の方々は作り笑顔だったかもしれませんが、厳しい生活をしながらし、しっかり税金を払い、家族の為に生懸命生活している多くの市民にとっては笑顔どころか怒りと失望、更には不信とあきらめ感を植えつけられた野志市政一年だったような気がします。

市長はこの一年間、市民の前で何回頭を下げて謝罪会見をされたでしょうか。

野志市長、すべての事件を覚えていますか。あまりに多すぎて覚えておられないかもしれませんが、ここでご改めて謝罪をした事件名をすべて明らかにしてください。

松山市発注工事の裏金疑惑をはじめ、市職員倫理規程違反事件、幹部職員の記者会見盗聴事件、松山市発注工事の入札情報漏えいに絡む地方公務員法の守秘義務違反と加重取賄容疑事件、その他にも酒気帯び事故の道交法違反事件、二万トンに上る中学校水道水流失事件、更には、事務組合セクハラ事件、教員による女性下着窃盗事件、教え子の生徒に対するわいせつ事件、挙げ句の果てが消防署員による女性に対する強姦致傷事件です。この年は、本市職員、不名誉事件のオンパレードです。

市民全体の奉仕者であるべき市職員等が、このような事件を連続して起こすのは、何故原因と考えておられるか明らかにしてください。

市長は本年9月10日、松山市発注工事をめぐる市職員の守秘義務違反逮捕事件における記者会見で「今までやってきた事は正しいと思う。3,400人の職員の中には不心得

者もあり、個人のモラルの問題だと思う」と発言していますが、今でもそう思っておられるのか?お答え下さい。

本場に「個人の道徳の問題」なのでしょいか、市長が市職員の不祥事について、「職員個人のモラルの問題」とした事は、事件の責任を職員個人に押しつけた、自らの責任を回避しようとする行為で、本市のリーダーとしての資質を疑わざるを得ない発言でもあり絶対に許されません。先ずは組織の長として事件が防げなかった自らの責任に言及した上で、市民に対し謝罪をすべきだったのではないのでしょうか。市長はこの責任逃れの発言を撤回するおつもりはないか、お答え下さい。市長、いいですが、個人のモラルの問題と云う捉え方では再発防止は絶対に出て来ませんよ!何故なら、職員個人一人ひとりは、毎日、常に様々なプレッシャーの中で仕事をしており、喜怒哀楽を繰り返す中で、ふと自分の弱さを露呈する事が必ずあります。自分の内外に存在する悪は、時としてそこに付け込んでくる事があるものです。不祥事を最小限に抑えるためには、職場のシステムとして、物理的に犯罪を抑制する機能と、精神的フォロー機能と言われる、上司や同僚との人間関係を良好に維持する職員同士のコミュニケーションが充分に出てくるかどうかで、不祥事が未然に防げる職場であるかそうでないかが分かれるのではないのでしょうか。

今回の事件で明るみに出ているのは、重要書類の鍵管理や、パソコンのパスワード管理、履歴管理等が幼稚なまま放置されていた事によつて、犯罪のブレーキ機能が緩んでいた事は否めなく、組織の責任を免れる事はできません。また容疑者が「金を渡せば情報してくれる」という風評があったにもかかわらず、上司や同僚が容疑者の不審な行動に全く気付いていなかった事実からも、精神面のフォロー機能が働いていなかった事が見てとれます。

モラルの無い人を職員に採用した責任、採用した職員のモラルを向上させる事が出来なかった責任、更には職員が事件を起こした事の市民に対する責任が、組織にあることは間違いありません。勿論、罪を犯した個人に

者もあり、個人のモラルの問題だと思う」と発言していますが、今でもそう思っておられるのか?お答え下さい。

教育長答弁

今回の事故は、学校において、規則に沿った適正な管理がなされていなかったことによるものでございます。とはいいますが、その、市教育委員会においても一定の責任はあると考えており、昨年7月の津田中学校の水道水漏水については今回のような人的過失は確認できず、不具合のあった校舎用受水槽タンクの定水位弁からの漏水が原因であろうとの結論に至ったため、学習施設課の掌握事務としてその責任のもと処理致しました。長期にわたる流出となった原因は、学校の不十分な対応にあったものと考えております。

松山市議会は
一問一答方式を
採用せよ!!

梶原ときよし



全国の地方議会では議会改革の嵐が起きています。

中には名ばかりのアリバイ的議会もあるようにも聞きますが、少なくとも議会質問において一問一答方式が採用されてからは、これまでの一括質問・一括答弁方式に比べ、議論の中身が分かり易くなったと言われています。

しかし、残念ながら松山市議会においては議会改革どころか、一問一答方式すら採用されておらず、緊張感の無いセレモニー議会が続いています。ただ唯一あるのが市長(執行部)答弁に対する再質問・再々質問ですが、ほとんどが同じ内容の答弁を繰り返して逃げるといふ情けないものになっています。しかも与党議員が再質問した事は一度もなく、市政のチェックどころか馴れ合い発言に終始しているのが議会の現状です。

一問一答方式を採用し、答弁する側にも反問権を与える事により、質問のしつ放しや、答弁しつ放しで終わる事の無い、緊張感のある質問戦が繰り広げられる事は間違いありません。

また不勉強な議員は議場に立つ事も出来なくなるくらいのプレッシャーが生まれてくることも予想され、議員の質的向上も期待されます。

一方、市長(執行部)側も今までの何倍もの学習能力が要求されますので、危機感のない部長は淘汰される事になるでしょう。

つまり、一問一答方式の採用が議員や執行部の質を高め、議会を改革するきっかけになる事は間違いなく、この事により、初めて地方自治の二元代表制が機能し始めるのではないのでしょうか。

は、当然、社会的責任を取ってもらいますが、上司である部長や課長が「犯罪を許してしまった責任は私達幹部に有ります」と、どうして言えないのか。私には不思議でなりません。野志市長が、管理能力の無い幹部職員を即刻、降格させるくらいの「市民の目に見える処分」を行わないから、いつまでも緊張感の無い組織になり下がりが、また同じ過ちを繰り返してしまつ事になるのではないのでしょうか。戒告や訓告、嚴重注意程度の痛くも痒くもない処分が納めるのではなく、降格人事をする気があるのか、無いか、はきりと答弁をしてください。何度言いますが、全てを個人の問題とする考え方は、健全な職場は築けない事を、管理職の方々には再認識をしてもらいたいと思います。

野志市長答弁

事件が発生し、職員全体の中には、未だモラルに欠ける職員がいたことが残念でならないこと、また、最終的には個々の職員のモラルに行き着くと考えているということです。

松山市発注工事裏金疑惑について

次に松山市発注工事裏金疑惑について質問します。組織は上から腐ることも言われます。今年3月に発覚した松山市発注工事裏金疑惑を見て明らかに、本市の幹部の中に不祥事を隠べいし、責任逃れをする事が、組織を守るのだと思ひ込み、職員に踏み絵を踏ませるような風潮があるように、私には思えてなりません。先日、裏金を作り、元市職員に渡したと告発されたASK機工社長の証言について、その会社を実質的に動かしていた幹部社員の話、何を伺う機会がありました。その方の話でも、やはり、はきりと裏金を作られて、元市職員に渡したこの事で、した。裏金を渡した側である社長と社員が、証言をしているにもかかわらず、本市の対応は、民間の話は関知しませんがとの結論です。稲葉副市長、恥かしくないですか?稲葉さんと親しい間柄だったと言われている元市職員が、本市発注工事の業者選定に関与しているのは明らかじゃないです